

Panasonic®

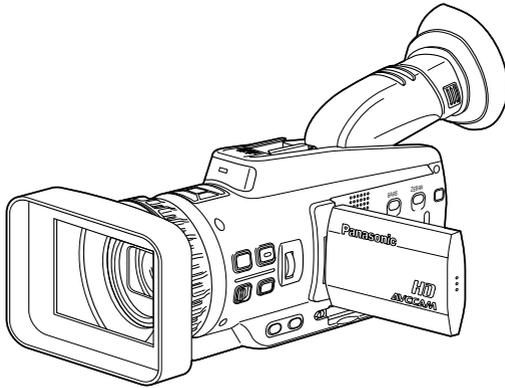
■本機は AVCCAM 3 年間無償修理特約の対象商品です。詳しくは 35 ページをご覧ください。

取扱説明書

メモリーカードカメラレコーダー

品番 **AG-HMC45A**

AVCCAM



AVCHD™



HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

LEICA
DICOMAR



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

簡易版 取扱説明書

本書は、取扱説明書より一部の内容を抜粋したものです。詳細は、同梱のCD-ROMに収録されているPDFマニュアルを参照してください。



すぐに本機をお使いになる場合は、裏面の『かんたん操作ガイド』をお読みの上、お使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」(4～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

FJ0911TA0 -PS
Printed in Japan

JAPANESE

VQT3U96

はじめに

各部の名称

準備

表示

メニュー

ご参考

- SDHC ロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- “AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- LEICA/ ライカはライカマイクロシステムズ IR GmbH の登録商標です。
- DICOMAR/ ディコマーはライカカメラAGの登録商標です。
- Microsoft®、Windows®およびWindows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- IBM およびPC/AT は米国International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Intel®はIntel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple®、Macintosh®, Mac OS® は、米国Apple Inc. の米国、および各国における商標、または登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
 - 本製品で SD メモリーカードに記録して、エンドユーザーに営利目的でそのカードを配布する場合には、別途 MPEG-LA とのライセンス契約が必要です。ここで言うエンドユーザーとは、個人使用目的でコンテンツを扱う人や団体を指しています。

本書内のイラストについて

- カメラ本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを(➔ 00ページ、PDF 00ページ)のように示しています。

用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、どちらもSD メモリーカードと記載しています。
- 1回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。

この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください.....4

はじめに

使用上のご注意.....	9
ご使用前に	11
付属品	12

各部の名称

各部の名称.....	13
右面、後面	13
左面	14
端子部、取り付け部	15
リモコン	16

準備

バッテリーの充電.....	17
充電する	17
電源の準備	18
バッテリーを使う	18
AC アダプターを使う	18
リモコンの準備.....	19
コイン電池を入れる	19
リモコンが使える範囲	19
電源の入れかた・切りかた	19
タッチパネルの使いかた	20
タッチする	20
カレンダーを合わせる.....	21
タイムゾーンを設定する	21
時刻を設定する	21

表示

画面の表示.....	22
通常が表示	22
主な警告表示	26
画面表示内容の選択	28

メニュー

設定メニューの基本操作.....	30
設定メニューの操作方法.....	30
クイックメニュー、ファンクションナビを使う	31
設定メニューを初期化する.....	32
設定メニューの構成.....	33
CAMERA モードのメニュー	33
PHOTO モードのメニュー	33
PB モードのメニュー	34

ご参考

保証とアフターサービス (よくお読みください)	35
修理を依頼される時	35
定格	36

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



危険

バッテリーは…



- 指定以外のものを使わない
- 端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
- 分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
- 電子レンジやオープンなどで加熱しない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）

⇒ 使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

⇒ 不要（寿命）になったバッテリーについては9ページをご参照ください。

⇒ 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。



- 本機専用の AC アダプターで充電する
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）

AC アダプターは…



- 本機専用のバッテリー以外の充電には使わない
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）

警告

カメラレコーダーや付属品は…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



- 異常があったときは、ACアダプターの電源プラグを抜く
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
(そのまま使うと、火災・感電の原因になります。)
⇒ ACアダプターを電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。
⇒ バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
⇒ 販売店にご相談ください。



- 乗り物を運転しながら使わない
(事故の誘発につながります。)
⇒ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

- 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない
(本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど*の原因になります。)
長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。
* 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



接触禁止

- 雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない
(落雷すると、感電につながります。)



分解禁止

- 分解や改造をしない
(火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)
⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



- 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする
(火災や感電の原因になります。)
⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。
⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。

リモコン用のコイン電池は…



- + と - は逆に入れない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れてたりしない
- ネックレスなどの金属物と一緒にしない
- 指定外の電池は使用しない
(液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周辺破損の原因になることがあります。)
⇒ 電池の交換方法は 19 ページを参照して下さい。

警告 (つづき)

AC アダプターは…



■ 電源コード・プラグを破損するようなことはしない
[傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど]

■ 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない

■ たこ足配線等コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100V ~ 240V 以外での使用はしない

(感電・火災の原因になります。)

⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



ぬれ手禁止

■ ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない

(感電の原因になります。)



■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。)

⇒ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

■ 電源プラグのほこり等は定期的にとる

(プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。)

⇒ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

小さな付属品は…



■ メモリーカード (別売品)、コイン電池、フェライトコア、結束バンド、XLR コネクターキャップは乳幼児の手に届くところに置かない

(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)

⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

注意

カメラレコーダーは…



- **レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない**
(レンズにより集光されると、内部部品が破損し、火災の原因となります。)
- **三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない**
(三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。)
⇒ 三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。
- **コンバージョンレンズなどを装着した状態で、ハンドルを持って振り回したり、ゆさぶったり、振り下ろしたりしない**
(コンバージョンレンズなどの重量増加により、ハンドルを持って衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になります。)
- **ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない**
(ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)

カメラレコーダーや付属品は…



- **本機の放熱を妨げない**
[押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない]
(内部に熱がこもり、火災の原因になります。)
- **直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない**
(特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60℃ 以上) になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)
- **油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない**
(火災や感電の原因になります。)
- **本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない**
(落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。)
(重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)



- **コードを引き回す場合、足など引っ掛けないよう固定したりカバーなどを**
する
(足などを引っ掛けると、けがの原因になります。また、コードが傷つき、火災の原因にもなります。)
- **病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う**
(本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。)



電源プラグ
を抜く

- **長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く**
(火災や感電の原因になります。)

■ 本機で使えるバッテリーについて

(2011年11月現在)

本機で使用できるパナソニック製バッテリーはCGA-E/625 (AG-BPS581:別売品番)です。このバッテリーは、バッテリーと本機との間で、安全に使用できるかどうかを確認する機能があるバッテリーです。

パナソニック純正バッテリー (充電式電池) ご使用のすすめ

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。

なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

使用上のご注意

雨天、降雪中、海岸などで使う時は、カメラに水が入らないようご注意ください。

- カメラやカードの故障につながります。(修理できなくなることがあります。)

電磁波を発生する機器(テレビ、テレビゲームなど)からカメラを遠ざけてください。

- テレビの上やその周辺でカメラを使用すると、電磁波の放射により画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターが発生する強力な磁場は、撮影内容を破損したり、画像をゆがめることがあります。
- マイクロコンピュータから放出される電磁波は、カメラに悪影響を及ぼし画像や音声にひずみを生じさせることがあります。
- 磁気を発生する機器によりカメラが悪影響を受け、正確に動作しなくなった場合は、カメラの電源を切り、バッテリーを外すか、ACアダプターをコンセントから抜きます。そしてもう一度バッテリーを入れるか、ACアダプターを接続します。その後カメラの電源を入れます。

カメラをラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。

- ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音に悪影響が出るおそれがあります。

海岸などで使用する場合、砂やほこりがカメラに入らないようご注意ください。

- 砂やほこりでカメラやカードが破損することがあります。(カードを出し入れする時にはご注意ください。)

AC アダプターとバッテリーについて

- バッテリーが適温でも [CHARGE] ランプが点滅し続ける時は、バッテリーかACアダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かい時、充電時間は通常より長くなります。
- ACアダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。ACアダプターとラジオは1 m以上離してお使いください。
- ACアダプターの使用中に、ノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ。

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ:

<http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をゼロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



充電式

リチウムイオン

Li-ion

電池使用

カメラを持ち運ぶ時、落とさないようご注意ください。

- 強い衝撃でカメラ本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。
- カメラを持ち運ぶ時は、グリップベルトかショルダーベルトを持ち、ていねいに取り扱ってください。

カメラに殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、カメラ本体が変形したり、塗装がはげるとおそれがあります。
- カメラは、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

使用後は、バッテリーを外すか、または AC コードをコンセントから抜いておきます。

バッテリーの特性について

本機のバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度の影響を受けやすく、バッテリーの有効使用時間は温度が高くなる、または、低くなるほど短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、たった5分ほどしかもちません。バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

使用上のご注意（つづき）

使い終わったら、必ずバッテリーを外してください。

カメラからバッテリーを確実に外してください。（付けたままにしておくと、カメラの電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます。）長期間バッテリーを付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

バッテリーの端子部を保護してください。

バッテリーの端子部にほこりや異物が付かないようにしてください。

また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。

変形したバッテリーをカメラに入れたり、ACアダプターに付けると、カメラやACアダプター側を傷めることがあります。

メモリーカードを破棄／譲渡する時のお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

液晶について

- 液晶モニターやビューファインダーに、同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが生じることがありますが、数時間電源をOFFにしておくと、元に戻ります。
- 液晶モニターのドットについては有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 温度差が激しい所では、液晶モニターの液晶部につゆがつくことがあります。そのような場合は柔らかい乾いた布でふいてください。
- カメラが冷えきっている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

レンズやビューファインダーのアイピースは、太陽に向けないでください。

内部の部品が破損するおそれがあります。

端子の保護キャップについて

使用しない接続端子には、保護キャップを取り付けておいてください。

ご使用前に

ためし撮りをしましょう

- 大切な撮影(結婚式など)の場合は、必ず事前にためし撮りし、正常に撮影・録音されていることを確認してください。

必ずカレンダー、タイムゾーンの確認・設定を行いましょ

- 記録したコンテンツの管理、再生順序に影響します。撮影の前にカレンダー、タイムゾーンの設定・確認を行ってください。(→ 21ページ)

撮影内容の補償はできません

- 本機およびSD/SDHCメモリーカードの使用で、万一これらの不具合により撮影されなかった場合の撮影内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

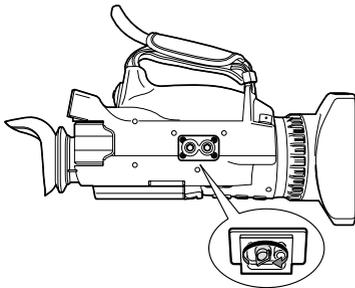
- あなたがカメラで撮影や録音した内容は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本機で使えるメディアについて

- SD/SDHCメモリーカードが使用できます。詳しくはPDF 13ページをご覧ください。

三脚の取り付けについて

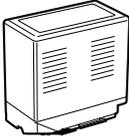
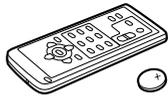
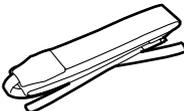
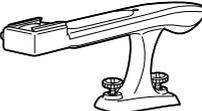
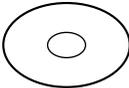
- 三脚取り付け穴の深さは、5.5 mm です。本機を三脚に取り付ける時は、三脚のネジを無理に締め付けないでください。また、1/4-20UNC タイプ以外のネジを使用すると、本機が破損する場合があります。



三脚取り付け穴に三脚を取り付ける。

その他の使用上の注意については 9 ページをご覧ください。

付属品

<p>バッテリー *1</p> 	<p>AC アダプター</p> 	<p>AC コード / DC コード</p> 	<p>ワイヤレスリモコン リモコン用コイン電池 (CR2025)</p> 
<p>アイカップ</p>  <p>→ 「アイカップの取り付け」(PDF 26 ページ) 参照</p>	<p>ショルダーベルト</p>  <p>→ 「ショルダーベルトの取り付け」(PDF 25 ページ) 参照</p>	<p>ハンドル</p>  <p>→ 「ハンドルの取り付け」(PDF 26 ページ) 参照</p>	<p>AV ケーブル</p> 
<p>コンポーネント映像 ケーブル</p> 	<p>フェライトコア (4 個) *2</p> 	<p>タッチペン</p> 	<p>結束バンド (4 本)</p>  <p>→ 「結束バンドの取り付け」(PDF 85 ページ) 参照</p>
<p>CD-ROM</p> 	<p>以下の付属品は本体に取り付けられています。</p>		
		<p>レンズフードキャップ</p> 	<p>XLR コネクター キャップ</p> 

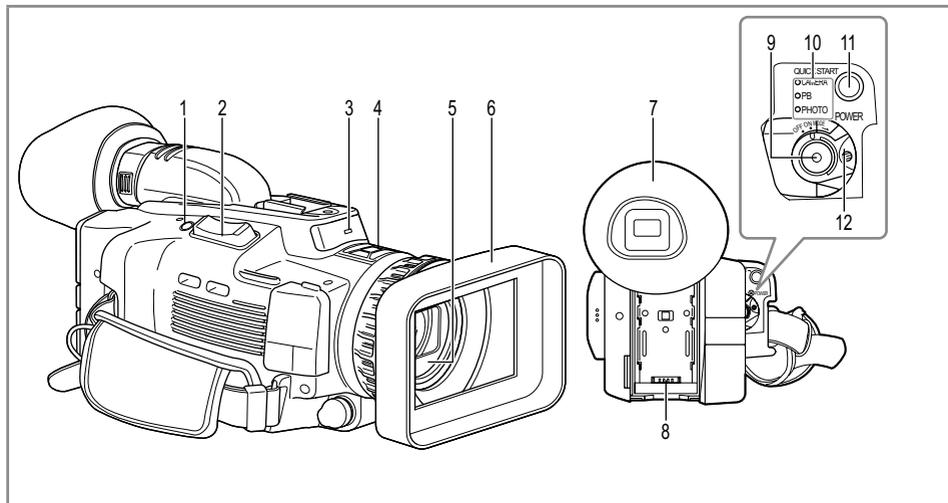
*1 「バッテリー」の品番は、CGA-E/625 です。追加でバッテリーをご購入の際は、別売品を参照してください。(→ PDF 17 ページ)

*2 USB ケーブル (別売) や HDMI ケーブル (別売) を使う場合は、ケーブルに必ずフェライトコアを取り付けてください。フェライトコアを取り付けないと、周辺の機器に妨害を与える原因になります。(→ PDF 84、85 ページ)

- 付属品の追加ご購入は販売店にご相談ください。
- AC コードキャップ及び包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

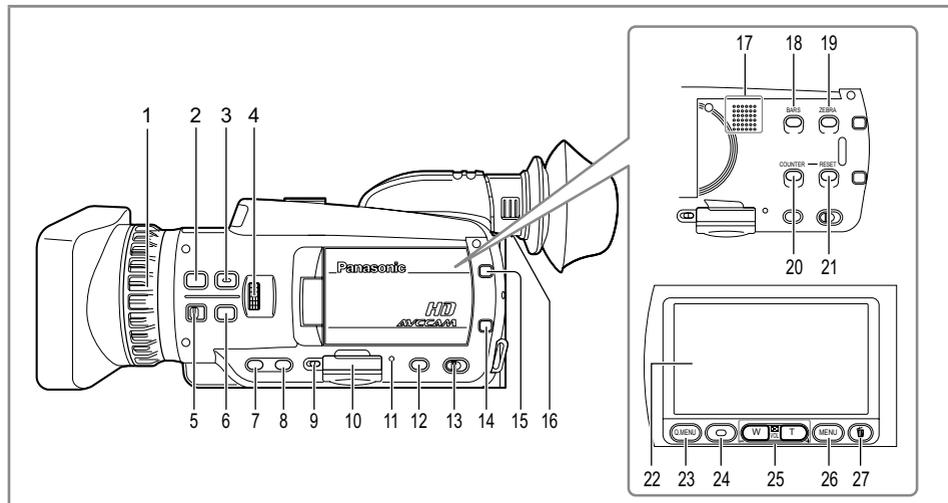
各部の名称

右面、後面



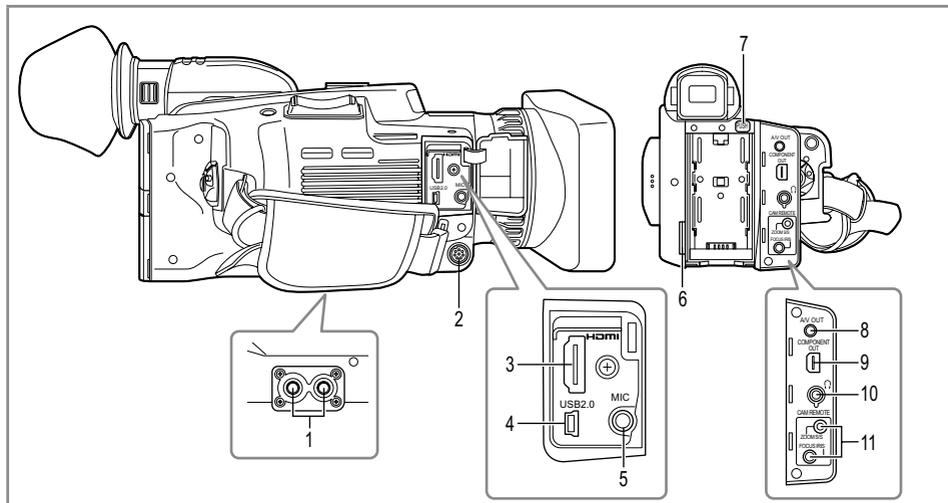
- 1 REC CHECK/PHOTO ボタン
(⇒ PDF 61 ページ)
- 2 ズームレバー (⇒ PDF 39 ページ)
- 3 タリーランプ (⇒ PDF 28 ページ)
リモコン受光部 (⇒ 19 ページ)
- 4 内蔵マイク (⇒ PDF 52 ページ)
- 5 レンズフード (内側) (⇒ PDF 17 ページ)
- 6 レンズフード (外側) (⇒ PDF 17 ページ)
- 7 ビューファインダー (⇒ PDF 30 ページ)
- 8 バッテリー取り付け部 (⇒ 18 ページ)
- 9 START/STOP ボタン (⇒ PDF 35 ページ)
- 10 モードランプ (CAMERA、PB、PHOTO)
(⇒ PDF 35、61、71 ページ)
- 11 QUICK START ボタン (⇒ PDF 28 ページ)
- 12 POWER スイッチ (⇒ 19 ページ)

左面



- | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1 FOCUS リング (→ PDF 41 ページ) | 20 COUNTER ボタン (→ PDF 57 ページ) |
| 2 FOCUS ASSIST ボタン (→ PDF 42 ページ) | 21 RESET ボタン (→ PDF 57 ページ) |
| 3 FOCUS ボタン (→ PDF 41 ページ) | 22 液晶モニター (→ PDF 31 ページ) |
| 4 IRIS ダイアル (→ PDF 42 ページ) | 23 Q.MENU ボタン (→ 31 ページ) |
| 5 RING スイッチ (→ PDF 41 ページ) | 24 START/STOP ボタン (→ PDF 35 ページ) |
| 6 WHITE BAL ボタン (→ PDF 43 ページ) | 25 ズームボタン (→ PDF 39 ページ) |
| 7 USER1 ボタン (→ PDF 47、107 ページ) | 26 MENU ボタン (→ 30 ページ) |
| 8 USER2 ボタン (→ PDF 47、107 ページ) | 27 ゴミ箱ボタン (→ PDF 78 ページ) |
| 9 SD メモリーカード扉オープンレバー (→ PDF 34 ページ) | |
| 10 SD メモリーカード扉 (→ PDF 34 ページ) | |
| 11 アクセスランプ (→ PDF 34 ページ) | |
| 12 USER3 スイッチ (→ PDF 47、107 ページ) | |
| 13 AUTO/MANUAL スイッチ (→ PDF 35、41 ページ) | |
| 14 DISP/MODE CHK ボタン (→ PDF 46 ページ) | |
| 15 OIS ボタン (→ PDF 47 ページ) | |
| 16 視度調整レバー (→ PDF 30 ページ) | |
| 17 スピーカー (→ PDF 77 ページ) | |
| 18 BARS ボタン (→ PDF 48 ページ) | |
| 19 ZEBRA ボタン (→ PDF 46 ページ) | |

端子部、取り付け部



各部の名称

- 1 三脚取り付け穴 (→ 11 ページ)
- 2 XLR アダプター端子 (→ PDF 84 ページ)
- 3 HDMI 端子 (→ PDF 85 ページ)
- 4 USB2.0 端子 (→ PDF 84、86 ページ)
- 5 MIC 端子 (→ PDF 83 ページ)
- 6 ショルダーベルト取り付け部 (→ PDF 25 ページ)
- 7 バッテリー取り外しボタン (→ 18 ページ)
- 8 A/V 端子 (→ PDF 84、85 ページ)
- 9 コンポーネント端子 (→ PDF 85 ページ)
- 10 ヘッドホン端子 (→ PDF 83 ページ)
- 11 CAM REMOTE 端子*

FOCUS/IRIS (3.5mm ミニジャック)

リモコンを接続して、フォーカス (ピント操作)、およびアイリス (絞り) 操作をリモート制御できます。

アイリス (絞り) 制御は、OPEN からはゲイン調整となり、通常のゲイン設定まで可能です。

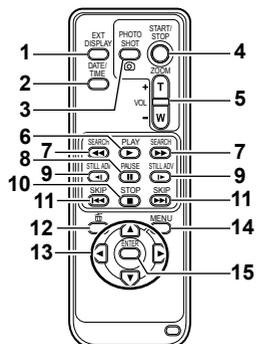
ZOOM S/S (2.5 mm スーパーミニジャック)

リモコンを接続して、ズーム操作と記録スタート / ストップの操作をリモート制御できます。

* CAM REMOTE ジャックにはリモコン以外の機器を接続しないでください。リモコン以外の機器を接続すると、映像の明るさが変化したり、ピントが合わなくなったりすることがあります。

リモコン

リモコンを使う場合は、「その他の設定」画面の「リモコン」項目を「入」に設定してください。工場出荷時は「切」に設定されています。(→ PDF 110 ページ)



リモコンが使える範囲 (→ 19 ページ)

- 1 EXT. DISPLAY ボタン (→ PDF 77 ページ)
- 2 DATE/TIME ボタン (→ PDF 77 ページ)
- 3 PHOTO SHOT ボタン (→ PDF 61 ページ)
カメラ本体の REC CHECK/PHOTO ボタンの PHOTO 機能のみ動作します。
- 4 START/STOP ボタン (→ PDF 35 ページ)
- 5 ZOOM/VOL ボタン
(→ PDF 39、77 ページ)
- 6 PLAY ボタン (→ PDF 71、72、75 ページ)
- 7 SEARCH ボタン (→ PDF 71 ページ)
- 8 PAUSE ボタン (→ PDF 72 ページ)
- 9 STILL ADV ボタン (→ PDF 72 ページ)
- 10 STOP ボタン (→ PDF 71、75 ページ)
- 11 SKIP ボタン (→ PDF 72 ページ)
- 12  ボタン (→ PDF 78 ページ)
液晶モニターの  ボタンと同じ働きです。
- 13 操作 ボタン
液晶モニターの  と同じ働きです。
- 14 MENU ボタン
カメラ本体の MENU ボタンと同じ働きです。
- 15 ENTER ボタン
メニューや項目を決定する時に使用します。

バッテリーの充電

充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。充電してからお使いください。
また、予備のバッテリーを 1 本用意されることをお勧めします。

1 電源コードを AC アダプターにつなぐ。

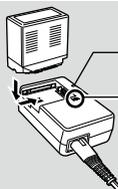
DC コードは抜いておく
(DC コードがつながっているとバッテリーの
充電ができません)



「グッ」と奥まで差し込む



2 バッテリーを付ける。



充電ランプ [CHARGE]

マークに合わせてのせてから、
しっかり押し込む

■ 充電ランプ

点灯：充電中

消灯：充電完了

点滅：下記参照

■ 充電ランプが点滅した時は

バッテリーや AC アダプターの端子部にゴミや異物、汚れが付着していないか確認し、正しく接続し直してください。

- ゴミや異物、汚れが付着している場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後、取り除いてください。
- それでも充電ランプが点滅する場合は、バッテリーまたは AC アダプターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 充電時間と撮影可能時間の目安

バッテリー品番	電圧 / 容量	充電時間	連続撮影可能時間
CGA-E/625 (AG-BPS581 : 別売品番)	7.2 V/ 5800/5400 (typ./min.) mAh	約 5 時間 50 分	約 7 時間 00 分

- 上の表は常温(温度25℃ / 湿度60%)での時間です。高温、低温時は充電時間が長くなりますので、目安にしてください。
- 長時間使用していないバッテリーを充電する時は、充電時間が長くなる場合があります。
- 連続撮影可能時間は、外部機器と接続せずに、液晶モニターを閉じた状態で、ビューファインダーを使って撮影した場合の目安です。
- 使用状況によって撮影可能時間は変わりますので、目安にしてください。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。

各部の名称

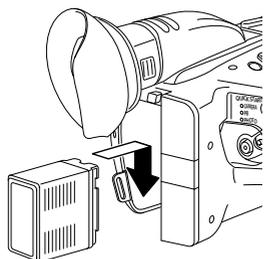
準備

電源の準備

バッテリーを使う

取り付け

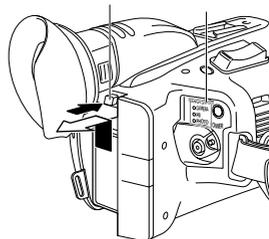
カチッという音がするまで入れる。



取り外し

- 1 POWER スイッチを OFF にして、モードランプが消灯したことを確認する。
- 2 バッテリー取り外しボタンを押しながらバッテリーを持ち上げて取り外す。
 - バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。

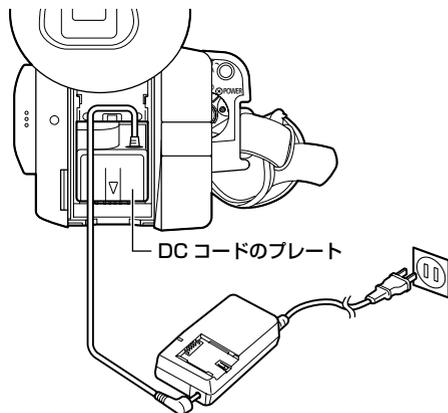
バッテリー取り外しボタン モードランプ



AC アダプターを使う

取り付け

- 1 DC コードを AC アダプターに接続する。
- 2 AC コードをコンセントに接続する。
- 3 DC コードのプレートのカチッという音がするまで入れる。



取り外し

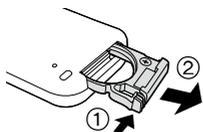
- 1 POWER スイッチを OFF にして、モードランプが消灯したことを確認する。
- 2 バッテリー取り外しボタンを押しながら DC コードのプレートを取り外す。
- 3 AC コードをコンセントから抜く。

- AC アダプターに DC コードを接続している時は、バッテリーの充電を行うことができません。
- AC アダプターは全世界の電源電圧(100 V-240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)で動作するように設計されています。ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。(→ PDF 119ページ)変換プラグはお買い上げの販売店にご相談の上、お求めください。
- 本機を使用しない時は、AC コードをコンセントから外してください。

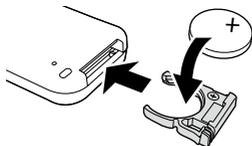
リモコンの準備

コイン電池を入れる

- 1 つまみを矢印①の方向に押しながら、ホルダーを引き抜く。



- 2 電池の“+”マークを上に向け、入れる。



- 3 ホルダーを元に戻す。

- 電池 (CR2025) が消耗した場合は、新しい電池と交換してください。(電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約1年です)
リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、電池が消耗しています。
- 電池は、幼児の手の届かない所に置いてください。

電源の入れかた・切りかた

ロック解除ボタンを押しながら、POWER スイッチを回す。

電源を入れると：

モードランプ (CAMERA) が赤点灯し (カメラモード)、撮影待機状態になります。

電源を切ると：

モードランプ (CAMERA) が消灯します。

• 省電力モードについて

撮影待機状態 (バッテリー使用時にSDメモリーカードを挿入していた場合) で約5分間、特定の操作*がない場合、設定メニュー「その他の設定」画面の「パワーセーブ」項目の設定によって次のようになります。

入：自動的に本機の電源をOFFにします。

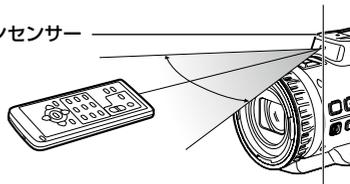
切：電源をOFFにしません。

* 特定の操作については、設定メニュー「パワーセーブ」の項目 (→ PDF 111ページ) をご覧ください。

リモコンが使える範囲

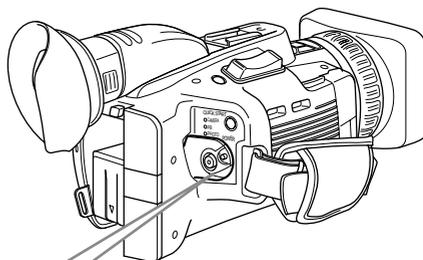
リモコンセンサーに対して、
距離：約5m以内
角度：上に約15°、下に約10°、左右に約15°
(オプション装着時を除く)

リモコンセンサー

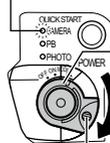


- リモコンの操作範囲は室内での使用時の値です。屋外やリモコンセンサーに強い光が当たっている時は、この範囲内であっても操作できない場合があります。

準備



モードランプ



POWER スイッチ

ロック解除ボタンを押しながら、ONの位置までPOWERスイッチを回します。
CAMERA (赤) ランプが点灯し、撮影待機状態になります。

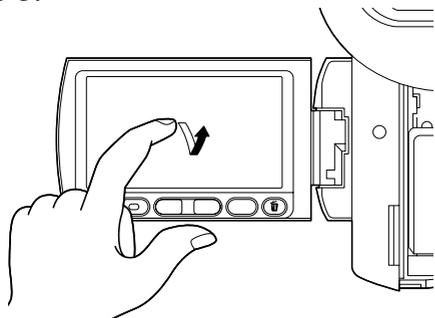
ロック解除ボタン

タッチパネルの使いかた

本機は、タッチパネル式液晶モニターを採用しています。
設定メニュー画面などを表示した時に、指で液晶モニターを直接タッチして操作できます。

タッチする

タッチパネルを押して離す動作でアイコンを選択する。



- タッチパネルに触れている状態で、他の箇所をタッチしても動作しません。
- 指で操作しにくい場合やこまかい操作には、タッチペン(付属)を使用してください。付属のタッチペン以外は使わないでください。

よく使うアイコンについて

▲▼◀▶:

メニューやサムネール画面を切り替えたり、数値を設定する時にタッチします。

(ページ切り替えの例)



(数値設定の例)



↶:

機能や項目の設定画面で、前の画面に戻るときにタッチします。

(表示例)



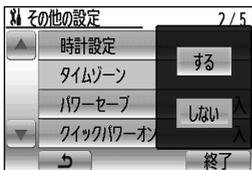
- 液晶モニターが指紋などで汚れた場合は、めがねふきのような柔らかい布でふいてください。
- ボールペンなど、先のとがった硬いものでタッチしないでください。
- 液晶モニターをつめを立ててタッチしたり、強い力でこすったり、押ししたりしないでください。
- 液晶保護シートをはると、見えにくくなったり、タッチしても認識しにくくなる場合があります。
- タッチしても認識されない場合や、異なるところが認識される場合は、「その他の設定」画面の「タッチパネル調整」項目で調整してください。(➔ PDF 32ページ)

カレンダーを合わせる

「時計設定」の値は、コンテンツ（クリップ）に記録され、サムネールによる再生順序に影響します。撮影の前に、必ず「時計設定」と「タイムゾーン」を確認・設定してください。
ここではカレンダーを2009年12月25日17時20分に設定する手順を説明します。

タイムゾーンを設定する

- 1 本機のPOWERスイッチをONにする。
(→ 19ページ)
- 2 MENUボタンを押す。
 - メニューの操作(→ 30ページ)
 - 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称(リモコン)」をご参照ください。(→ 16ページ)
- 3 設定メニュー「その他の設定」画面の「タイムゾーン」項目で「する」をタッチする。



- 4 タイムゾーン表示をタッチして、▲▼でグリニッジ標準時間からの時差を設定する。



- 日本国内でお使いの場合には、+9:00に設定します。
(工場出荷時には+9:00に設定されています。)

- 5 「決定」をタッチする。

- 時刻には誤差が生じますので、撮影前に時間が合っているか確認してください。
- 海外で使う場合、「時計設定」項目を現地時間に合わせるのではなく、「タイムゾーン」によるグリニッジ標準時間からの時差入力を行ってください。(→ PDF 111ページ)

時刻を設定する

- 1 本機のPOWERスイッチをONにする。
(→ 19ページ)
- 2 MENUボタンを押す。
 - メニューの操作(→ 30ページ)
 - 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称(リモコン)」をご参照ください。(→ 16ページ)
- 3 設定メニュー「その他の設定」画面の「時計設定」項目で「する」をタッチする。



- 4 設定する項目をタッチして選択し、▲▼で数値を設定する。



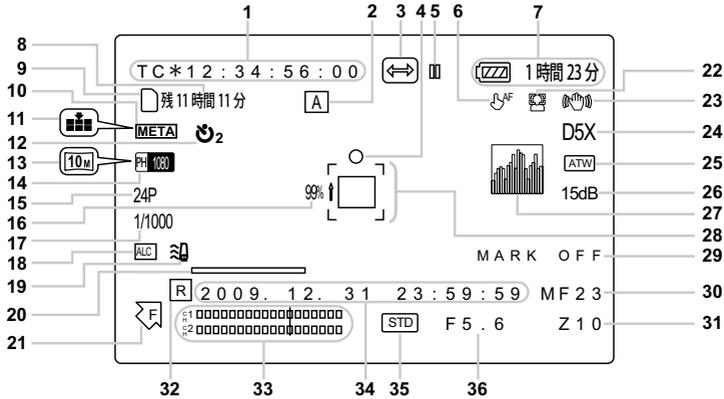
- 5 手順4と同様の方法で、残りの項目を設定する。
 - 日付は2001年1月1日から2039年12月31日まで設定できます。
 - 日付が2039年12月31日を超えた場合は、“---”が表示されます。
 - 時刻は24時間表示です。
- 6 「決定」をタッチする。
- 7 全ての項目の設定が終了したら、「終了」をタッチする、またはMENUボタンを押して設定を終了する。

画面の表示

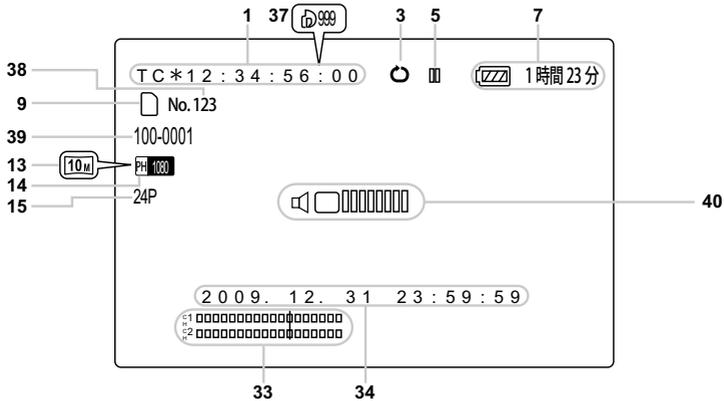
通常の表示

42 情報表示、43 モードチェック情報表示、44 セーフティゾーンについては、25 ページを参照してください。

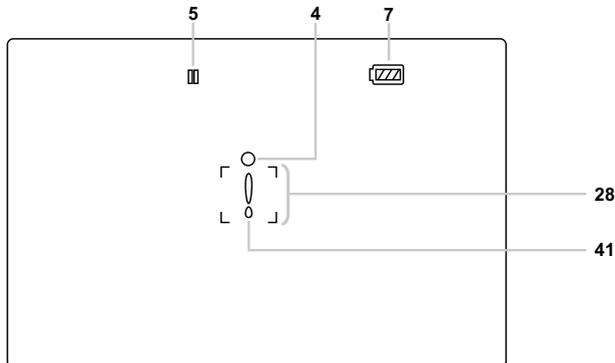
CAMERA モード／PHOTO モード時



PB モード時



対面撮影時



1 タイムコード表示^{*1}

COUNTER ボタンを押すごとに、下記のデータ（または表示なし）に切り替わります

COUNTER :

カウンター値

CLIP :

撮影ごとの CLIP のカウンター値
設定メニュー「SW と表示設定」画面の「記録時間カウンター」項目で「CLIP」を選択した場合に表示されます。
再生時のタイムコード表示は、自動的に CLIP になり、クリップごとに 0:00:00 からカウントします。

TC:

タイムコード値
タイムコード値が SD メモリーカードから正しく読みとれなかった時には、[TC *] を表示します。

UB:

ユーザーズビット値
ユーザーズビット値が SD メモリーカードから正しく読みとれなかった時には、[UB *] を表示します。

2 AUTO/MANUAL スイッチ動作表示

AUTO/MANUAL スイッチを AUTO に切り替えた時に表示します。

 : オート撮影時

 : 顔検出オート撮影

3 記録機能表示

 : 「プリレック」を「入」に設定した時に表示されます。(→ PDF 47 ページ)

 : 「インターバル記録」を設定した時に表示されます。(→ PDF 49 ページ)

 : 「リピート再生」を「入」に設定した時に表示されます。(→ PDF 74 ページ)

4 シャッターチャンス表示 (→ PDF 61 ページ)

5 動作状態表示

- : 撮影
- ⦿ : (緑) 撮影待機
- ▷ : 再生、ロックチェック中
- ⦿ : (白) 再生一時停止
- ⏪ (<⦿) : コマ送り再生
- ⏩ (⦿>) : (逆方向コマ送り再生)
- ⏮ (<<) : 早送り / 早送り再生
- ⏭ (>>) : (巻き戻し / 早戻し再生)

対面表示時

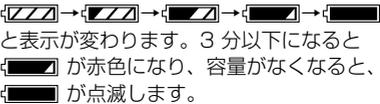
- 表示なし : 記録できない状態 (カードなし等)
- : 撮影中、撮影待機移行中
 - ⦿ : (緑) 撮影待機
 - ! : 警告表示中

6 タッチオートフォーカス表示

ファンクションナビでタッチオートフォーカスを ON にした時に表示されます。

7 バッテリー残量表示

本機で使えるパナソニック製バッテリー使用時は、バッテリー残量が表示されます (「m」は分を表します)。表示されるまでしばらく時間がかかります。

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、 と表示が変わります。3 分以下になると  が赤色になり、容量がなくなると、 が点滅します。
- 低温、高温になるところや、長時間ご使用にならなかった場合は、バッテリー残量表示が正しく表示されないことがあります。バッテリー残量を正しく表示させるには、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。(この操作を行っても、低温、高温になるところで長時間使用したバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります)
- 使用状況によってバッテリー残量表示の時間は変わりますので、目安にしてください。
- モードを切り替えたり、REC CHECK を行ったり、液晶の明るさを変更したときなどは、バッテリー残量時間を再度計算するため時間表示が一度消えます。
- ACアダプター使用時は表示されません。

8 メディア残量表示

CAMERA モード :

設定メニュー「撮影設定」画面の「記録フォーマット」項目で設定された記録フレームレートでの残量時間を表示します。

PHOTO モード :

設定メニュー「写真設定」画面の「クオリティ」項目で設定されたクオリティでの記録可能枚数が表示されます。

*1 外部機器には出力されません。

画面の表示 (つづき)

9 メディア情報表示

挿入されている SD メモリーカードの基本情報を表示します。



(白) 記録再生可能状態
(緑) カード認識中



カード未挿入

10 メタデータマーク

設定メニュー「撮影設定」画面の「メタデータ記録」項目を「入」に設定した時に表示します。
(→ PDF 56 ページ)

11 クオリティ表示

PHOTO モード時の画質が表示されます。

12 セルフタイマー表示

設定メニュー「写真設定」画面の「セルフタイマー」項目を設定した時に表示されます。

13 記録画素数表示

PHOTO モード時の記録画素数が表示されます。

14 記録フォーマット表示 (→ PDF 103 ページ)

15 フレームレート表示

記録フレームレートを表示します。
1080/60i の時は、表示しません。

16 マーカー輝度表示^{*2}

マーカー表示の時、画面中央付近の映像レベルを 0% ~ 99% で表示します。99% を超える時は、「99% ↑」を表示します。

マーカー表示:

撮影時に ZEBRA ボタンを何度か押すと、マーカーを表示します。

17 シャッタースピード表示

シャッタースピードを表示します。

18 マイクレベル自動制御表示

設定メニュー「撮影設定」画面の「マイク ALC」項目を、「入」にした時に表示します。

19 風音低減表示

設定メニュー「撮影設定」画面の「風音低減」項目を「入」にした時に表示されます。

20 フォーカスバー表示^{*1}

設定メニュー「SW と表示設定」画面の「フォーカスアシスト SW」項目で「バー表示」を設定した時に表示されます。

21 ファンクションキー表示 (→ 32 ページ)

22 顔検出枠表示

設定メニュー「SW と表示設定」画面の「顔検出枠表示」項目を「優先顔枠表示」または「全表示」に設定して、「顔検出 ON」にした時に表示します。

23 手ぶれ補正 (📷) 表示

手ぶれ補正が ON の時に表示されます。

24 デジタルズーム倍率表示

デジタルズーム倍率を表示します。

D 2X: 2 倍

D 5X: 5 倍

D 10X: 10 倍

25 AWB 情報表示

ホワイトバランスの情報を表示します。

ATW : ATW 設定時

LOCK : ATW ロック時

P3.2 K/P5.6 K : プリセット時

Ach/Bch : A/B 時

26 ゲイン表示

設定されている映像アンプのゲイン値を表示します。(オートモード時は AGC 表示。)

設定メニュー「SW と表示設定」画面の「レンズ情報」項目を、「入」にした時に表示します。

27 ヒストグラム表示

PHOTO モード時に、設定メニュー「SW と表示設定」画面の「ヒストグラム表示」項目を「入」にした時に表示されます。

28 フォーカス合焦枠表示 (→ PDF 61 ページ)

29 ショットマーク記録表示

(SHOT MARK)

撮影中に、あらかじめ「SHOT MARK」機能を割り当てた USER ボタンを押すと表示します。付加できない場合は、INVALID を表示します。

*1 外部機器には出力されません。

*2 オートモードで顔検出機能が ON に設定されている場合は、「顔検出枠表示」を「切」に設定しないと表示されません。

30 フォーカス制御情報表示^{*1}

99 ~ 00 でフォーカス制御情報を表示します。オートフォーカスの時は AF、マニュアルフォーカスの時は MF と表示されます。フォーカス制御がマクロ範囲になっている時は、AF または MF が白黒反転表示になります。

95 (焦点距離：無限大)

：

00 (焦点距離：約 5 cm)

ズームポジションにより、マクロ範囲にならないことがあります。

また、ズームポジションにより、マクロ範囲の下限値が異なることがあります。設定メニュー「SW と表示設定」画面の「レンズ情報」項目を、「入」にした時に表示します。

・フォーカス制御がマクロ範囲の時にズーム操作を行うと、ピントが合わなくなる場合があります。

31 ズームポジション表示^{*1}

Z00 (広角最大) ~ Z99 (望遠最大) でズームポジションを表示します。

設定メニュー「SW と表示設定」画面の「レンズ情報」項目を、「入」にした時に表示します。

32 タイムスタンプ表示 (→ PDF 49 ページ)

33 オーディオレベルメーター表示^{*1}

34 日付と時刻表示

年：2001...2039

月：

JAN (1月)、FEB (2月)、MAR (3月)、
APR (4月)、MAY (5月)、JUN (6月)、
JUL (7月)、AUG (8月)、SEP (9月)、
OCT (10月)、NOV (11月)、DEC (12月)

日

時

分

秒

yyyy mmm dd hh:mm:ss

・タイムスタンプ機能が「入」の場合には、月表示が数字から英語表記に変更されます。

35 オートアイリス制御表示

STD: 標準オートアイリス制御

: スポットライト用のオートアイリス制御

: 逆光補正用のオートアイリス制御

36 アイリス表示

F 値を表示します。

37 DPOF 表示 (→ PDF 80 ページ)

38 クリップ番号・写真番号表示 (→ PDF 65、67 ページ)

39 写真フォルダ / ファイル名表示 (→ PDF 67 ページ)

40 モニター音量レベルメーター

ヘッドホンの音量調整、またはスピーカー音量レベル調整時に表示されます。

41 警告表示

対面撮影時に警告メッセージが表示された場合に表示されます。

42 情報表示

状況に応じて、下記のような情報を表示します。

- ・オートホワイトバランスやオートブラックバランスの動作状態を表示します。
- ・警告表示
- ・AWBエラーメッセージ(AWB NG)を表示します。

43 モードチェック情報表示

DISP/MODE CHK ボタンを長押しした時に表示されます。

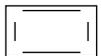
44 セーフティゾーン^{*2}

「SW と表示設定」画面の「セーフティゾーン」項目 (→ PDF 108 ページ) の設定により、範囲を表示します。

4:3 4:3 に切り出した位置を表示します。



90% 一般的な家庭用テレビで表示できる範囲 (90%) を表示します。



設定メニュー「SW と表示設定」画面の「フォーカスアシスト SW」項目で「拡大」を選んでいる場合や、顔検出機能を有効にして顔検出枠を表示させる場合には、タッチフォーカス動作時に液晶モニターやビューファインダーに表示されません。

*1 外部機器には出力されません。

*2 オートモードで顔検出機能が ON に設定されている場合は、「顔検出枠表示」を「切」に設定しないと表示されません。

画面の表示 (つづき)

主な警告表示

液晶モニターやビューファインダーに表示される、主な警告表示を記載しています。その他の警告表示については、表示されるメッセージを確認してください。

■ T	TC モードは NDF となります。	このカードは記録停止するおそれがあります。カードを確認してください。		
■ U	USB 機能は使えません。 ケーブルを抜いてください。	このカードはビデオ記録できません。		
	USB ケーブル接続中のため操作はできません。	このバッテリーは使えません。		
■ あ	インデックス数が上限をこえるためセットできません。	■ さ	再生することができません。	
■ か	カードがロックされています。 ロックを解除してください。	再生できません。	削除することができません。	
	カード残量がありません。	削除できません。	サムネール情報にエラーを検出しました。	
	カード残量が少ないため PRE-REC は設定できません。	■ た	データの規格が異なるため使えません。	
	カードにアクセス中です。 カードを抜かないでください。	時計を設定してください。	■ は	ビデオ記録が停止しました。 カードに書き込み中です。
	カードのふたを閉じてください。	フォーマット失敗しました。 このカードは再フォーマットが必要です。		フォーマットすると、記録されている内容は全て削除されます。 フォーマットしますか？
	カードを入れてください。	フォーマットできません。		
	カードを確認してください。			
	管理情報にエラーを検出しました。			
	記録を停止します (12 時間連続録画)			
	クリップがプロテクトされています。 プロテクトを解除してください。			
	クリップを修復しますか？			

エラー表示

本機や SD メモリーカードなどに異常が発生した場合に表示します。一度電源を切っても直らない場合は、表示の内容に従ってカードを交換するか、もしくはお買い上げの販売店へご相談ください。

■か

記録エラーが発生しました。 記録を停止しました。

記録時に異常が生じた時に表示します。再度記録してください。それでも警告が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 警告が続く場合は電源をOFFにしてください。
- 再度記録しても警告が出る場合は、別のカードに取り替えてください。

■さ

システムエラー 電源を切ってください

システムに異常が発生した時に表示します。電源を入れ直してください。

- クリップを削除した時など、SDメモリーカードへのアクセス中に表示された場合は、SDメモリーカードが壊れている可能性があります。新しいカードに交換してください。
- 修復時に表示された場合は、コンテンツ修復ソフトAVCCAM リストアラーをお使いください。(→ PDF 38ページ)

■は

ファン停止により、電源が切れました。

ファンに異常が発生した時に表示され、電源が切れます。しばらく待ってから、再度電源を入れ直してください。

画面の表示（つづき）

画面表示内容の選択

ビューファインダーや液晶モニター画面に表示する下記の項目は、DISP/MODE CHK ボタンを押した時や、設定メニュー「SWと表示設定」画面の「その他表示」項目（➡ PDF 109 ページ）の設定により表示します。

- ：表示する
 x：表示しない
 —：他の設定により表示を行います。

表示項目	CAMERA モード	PHOTO モード	MODE CHK (DISP/MODE CHKの長押し)	DISPLAY	「その他表示」項目の設定	
					「入」	「切」
1 タイムコード表示	○	x	○	— *1	— *1	— *1
2 AUTO/MANUAL スイッチ動作表示	○	○	○	○	○	x
3 記録機能表示	○	○	○	—	○	○
4 シャッターチャンス表示	x	○	—	—	○	○
5 動作状態表示	○	○	○	—	—	—
6 タッチオートフォーカス表示	○	x	○	○	— *2	x
7 バッテリー残量表示	○	○	○	○	— *2	— *2
8 メディア残量表示	○	○	○	○	— *2	— *2
9 メディア情報表示	○	○	○	○	— *2	— *2
10 メタデータマーク	○	x	○	○	○	x
11 クオリティ表示	x	○	○	○	○	x
12 セルフタイマー表示	x	○	— *2	—	○	○
13 記録画素数表示	x	○	○	○	○	x
14 記録フォーマット表示	○	x	○	○	○	x
15 フレームレート表示	○	x	○	○	○	x
16 マーカー輝度表示	○	○	x	— *1	— *1	— *1
17 シャッタースピード表示	○	○	○	○	— *3	— *3
18 マイクレベル自動制御表示	○	x	○	○	○	x
19 風音低減表示	○	x	○	○	○	x
20 フォーカスバー表示	○	○	— *1	— *1	— *1	— *1
21 ファンクションキー表示	○	○	— *4	— *4	— *4	— *4
22 顔検出枠表示	○	○	○	○	— *2	— *2
23 手ぶれ補正表示	○	○	○	○	— *3	— *3
24 デジタルズーム倍率表示	○	x	○	○	○	x
25 AWB 情報表示	○	○	○	○	○	x
26 ゲイン表示	○	○	○	○	— *3	— *3
27 ヒストグラム表示	x	○	— *2	— *2	— *2	— *2
28 フォーカス合焦枠表示	x	○	—	—	○	○
29 ショットマーク記録表示	○	x	— *1	— *1	— *1	— *1
30 フォーカス制御情報表示	○	○	○	○	— *3	— *3
31 ズームポジション表示	○	○	○	○	— *3	— *3
32 タイムスタンプ表示	○	x	— *2	— *2	— *2	— *2
33 オーディオレベルメーター表示	○	x	○	○	— *2	— *2
34 日付と時刻表示	○	○	○	○	— *2	— *2

35 オートアイリス制御表示	○	○	○	○	— *3	— *3
36 アイリス表示	○	○	○	○	— *3	— *3
37 DPOF 表示	x	○	—	—	○	○
38 クリップ番号・写真番号表示 *6	○	○	○	○	— *2	— *2
39 写真フォルダ/ファイル名表示 *6	x	○	○	○	— *2	— *2
40 モニター音量レベルメーター	○	○	— *1	— *1	— *1	— *1
41 警告表示	○	○	— *5	— *5	— *5	— *5
42 情報表示	○	○	— *5	— *5	— *5	— *5
43 モードチェック表示	○	○	○	—	—	—

*1 ボタンで表示切り替え

*2 上記以外のメニュー項目設定により表示切り替え

*3 設定メニュー「SW と表示設定」画面の「レンズ情報」項目を「入」にした時に表示

*4 液晶パネルをタッチすることで表示切り替え

*5 警告時に表示

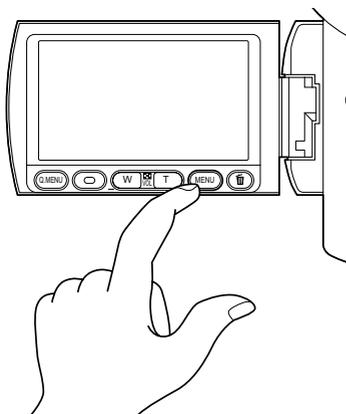
*6 PB モード時に表示

MODE CHECK 欄の○は、DISP/MODE CHK ボタンを押したままにすると表示される項目を示しています。

DISPLAY 欄の○は、DISP/MODE CHK ボタンを押すと表示が消える項目を示しています。

設定メニューの基本操作

撮影シーンや記録内容に合わせて、本機の設定を設定メニューで変更することができます。



設定メニューの操作方法

- グレー文字で表示されているメニュー項目は変更できません。

1 撮影中や再生中以外の時に、MENU ボタンを押す。

下記の機能画面が、ビューファインダーや液晶モニターに表示されます。



2 設定したい機能をタッチする。

- ▲▼をタッチすると、ページを切り替えることができます。



3 設定したい項目をタッチする。



- 1つ前の画面に戻る時は、↶をタッチします。

4 設定値をタッチする。

- 数値などを変更する時は、◀▶をタッチして設定値を変更します。
- 1つ前の画面に戻る時は、↶をタッチします。

5 他の項目を設定する場合は、手順3～4を繰り返す。

設定を終了する場合は、「終了」をタッチする、または MENU ボタンを押します。

6 他の機能を設定する場合は、手順2～4を繰り返す。

設定を終了する場合は、「終了」をタッチする、または MENU ボタンを押します。

クイックメニュー、ファンクションナビを使う

一部の項目をすばやく設定することができます。

■クイックメニュー

1 Q.MENU ボタンを押す。

2 項目をタッチする。



3 項目をタッチして設定する。

クイックメニューでは、下記の項目を設定することができます。

- モードや設定により、表示される項目は変わります。

アイコン	項目	表示モード	ページ
	記録フォーマット	CAMERA	PDF 103 ページ
	記録画素数	PHOTO	PDF 105 ページ
	プリレック	CAMERA	PDF 103 ページ
	撮影ガイドライン	PHOTO	PDF 108 ページ
	マイクレベル選択	CAMERA	PDF 104 ページ
	ヒストグラム表示	PHOTO	PDF 108 ページ
	LCD バックライト	CAMERA PHOTO	PDF 109 ページ
	オート SW (顔検出)	CAMERA PHOTO	PDF 108 ページ

4 「終了」をタッチする、または Q.MENU ボタンを押して、クイックメニューを終了する。

■ ファンクションナビ

1 液晶モニターをタッチする。

2  をタッチする。

3 項目をタッチする。



- 設定値が複数ある場合は、▲▼をタッチして設定値を選択します。

ファンクションナビでは、次の項目の設定を切り替えることができます。

- モードや設定により、表示される項目は変わります。

アイコン	項目	表示モード	ページ
	タッチオートフォーカス	CAMERA	PDF 45 ページ
	ホワイトバランス	CAMERA PHOTO	PDF 43 ページ
	シャッター速度	CAMERA PHOTO	PDF 50 ページ
	シンクロスキャン	CAMERA	PDF 51 ページ
	マイクレベル	CAMERA	PDF 52 ページ
	ヘッドホン音量	CAMERA	PDF 48 ページ
	セルフタイマー	PHOTO	PDF 105 ページ
	暗部補正	PHOTO	PDF 102 ページ
	スキンディテール	PHOTO	PDF 102 ページ

4 設定が終了したら項目をタッチする。

5  をタッチする。

設定メニューを初期化する

設定メニュー「その他の設定」画面の「メニュー初期化」項目で、各項目の設定値を工場出荷時の状態に戻すことができます。

設定メニューを初期化する場合は、「する」をタッチします。

次の項目の設定値は初期化されません。

- タイムコードの数値
- 時計設定
- 通電時間

設定メニューの構成

CAMERA モードのメニュー

- ビデオ撮影メニュー
 - シーンファイル (→ PDF 101 ページ)
 - ファイル選択
 - 読み込 / 保存 / 初期化
 - ディテール
 - V ディテール
 - ディテールコアリング
 - 色レベル
 - 色相
 - 色温度
 - ベダスタル
 - オートアイリスレベル
 - DRS
 - ガンマ
 - ニ-
 - マトリックス
 - スキンドイテール
- 撮影設定 (→ PDF 103 ページ)
 - 記録フォーマット
 - ブリレック
 - タイムスタンプ
 - インターバル記録
 - TC モード
 - TCG
 - TC プリセット
 - UB プリセット
 - 風音低減
 - マイク ALC
 - マイクレベル選択
 - メタデータカード読み込
 - メタデータ記録
 - ユーザークリップ名
 - メタデータ情報表示
 - クリップカウンタリセット
 - メタデータ初期化
- SW と表示設定 (→ PDF 107 ページ)
 - 絞り方向
 - USER1 SW
 - USER2 SW
 - USER3 SW
 - フォーカスアシスト SW
 - リング SW
 - オート SW
 - スムーズズーム停止
 - カメラゲイン上限
 - 顔検出枠表示
 - ゼブラ設定
 - マーカー
 - セーフティゾーン
 - 記録時間カウンター
 - 表示出力
 - 日時表示
 - 表示スタイル
 - レベルメータ
 - レンズ情報
 - カード・バッテリー
 - その他表示
 - LCD バックライト
 - 液晶調整
 - EVF 調整
 - 対面モード
 - EVF モード
 - EVF カラー
- その他の設定 (→ PDF 110 ページ)
 - カードフォーマット
 - リモコン
 - 撮影ランプ
 - お知らせ音
 - 時計設定
 - タイムゾーン
 - パワーセーブ
 - クイックパワーオン
 - HDMI 出力選択
 - コンポーネント出力
 - ダウンコンモード
 - ビデオセットアップ
 - 音声切替
 - メニュー初期化
 - 機器情報表示
 - タッチパネル調整
 - LANGUAGE
 - 通電時間

PHOTO モードのメニュー

- 写真撮影メニュー
 - カメラ設定 (→ PDF 102 ページ)
 - 暗部補正
 - ディテール
 - 色レベル
 - オートアイリスレベル
 - スキンドイテール
 - 写真設定 (→ PDF 105 ページ)
 - 記録画素数
 - クオリティ
 - 画像横縦比
 - セルフタイマー
 - シャッター音
 - SW と表示設定 (→ PDF 107 ページ)
 - 絞り方向
 - USER1 SW
 - USER2 SW
 - USER3 SW
 - フォーカスアシスト SW
 - リング SW
 - オート SW
 - スムーズズーム停止
 - カメラゲイン上限
 - 顔検出枠表示
 - ゼブラ設定
 - マーカー
 - 撮影ガイドライン
 - ヒストグラム表示
 - 表示出力
 - 日時表示
 - 表示スタイル
 - レンズ情報
 - カード・バッテリー
 - その他表示
 - LCD バックライト
 - 液晶調整
 - EVF 調整
 - 対面モード
 - EVF モード
 - EVF カラー
 - その他の設定 (→ PDF 110 ページ)
 - カードフォーマット
 - リモコン
 - 撮影ランプ
 - お知らせ音
 - 時計設定
 - タイムゾーン
 - パワーセーブ
 - クイックパワーオン
 - HDMI 出力選択
 - コンポーネント出力
 - 接続するテレビ
 - メニュー初期化
 - 機器情報表示
 - タッチパネル調整
 - LANGUAGE
 - 通電時間

設定メニューの構成 (つづき)

PB モードのメニュー

クリップ再生メニュー

- 再生設定 (→ PDF 106 ページ)
 - リビート再生
 - 続きから再生
- 操作 (→ PDF 106 ページ)
 - クリッププロテクト
 - 削除
- SW と表示設定 (→ PDF 107 ページ)
 - USER1 SW
 - USER2 SW
 - USER3 SW
 - インジケータ表示
 - 表示出力
 - 日時表示
 - 表示スタイル
 - レベルメータ
 - カード・バッテリー
 - その他表示
 - LCD バックライト
 - 液晶調整
 - EVF 調整
 - EVF モード
 - EVF カラー
- その他の設定 (→ PDF 110 ページ)
 - カードフォーマット
 - カード情報表示
 - リモコン
 - お知らせ音
 - 時計設定
 - タイムゾーン
 - HDMI 出力選択
 - コンポーネント出力
 - ダウンコンモード
 - ビデオセットアップ
 - 音声切替
 - 機器情報表示
 - LANGUAGE
 - 通電時間

写真再生メニュー

- 写真の管理 (→ PDF 106 ページ)
 - シーンプロテクト
 - DPOF 設定
 - 削除
- SW と表示設定 (→ PDF 107 ページ)
 - USER1 SW
 - USER2 SW
 - USER3 SW
 - 表示出力
 - 日時表示
 - 表示スタイル
 - カード・バッテリー
 - その他表示
 - LCD バックライト
 - 液晶調整
 - EVF 調整
 - EVF モード
 - EVF カラー
- その他の設定 (→ PDF 110 ページ)
 - カードフォーマット
 - カード情報表示
 - リモコン
 - お知らせ音
 - 時計設定
 - タイムゾーン
 - HDMI 出力選択
 - コンポーネント出力
 - 接続するテレビ
 - 機器情報表示
 - LANGUAGE
 - 通電時間

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

本機は 3 年間無償修理特約の対象商品です。
お客様が本機を購入後 1 カ月以内にウェブサイトからユーザー登録を行うと、最大 3 年間の無償修理特約が提供されます。より詳しい情報については、下記ウェブサイトをご覧ください。
日本語：http://panasonic.biz/sav/pass_j/
英語：http://panasonic.biz/sav/pass_e/

■補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、このメモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

メニュー
ご参考

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AG-HMC45A
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

【総合】

電源電圧	DC7.2 V (バッテリー使用時) DC7.3 V (ACアダプター使用時)
消費電力	7.8 W (MAX) : XLR マイクロホンアダプター (AG-MYA30G) 接続時
	5.8 W : 単体使用時

 は安全項目です。

動作周囲温度

0℃～40℃

動作周囲湿度

10%～80% (結露なし)

質量

約 980 g (バッテリーや付属品を除く)

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

136 mm × 135 mm × 304 mm
(突起部分を除く)

【カメラ】

撮像素子

1/4.1 型 MOS 固体撮像素子 × 3

総画素

約 305 万画素 × 3

動画有効画素

約 251 万画素 × 3 (16:9)

静止画有効画素

約 232 万画素 × 3 (4:3)、約 265 万画素 × 3 (3:2)、約 251 万画素 × 3 (16:9)

レンズ

LEICA DICOMAR 光学式手ぶれ補正レンズ、電動 12 倍ズーム、

F1.8～2.8 (f = 4.0 mm～48 mm)

35 mm 換算 (動画) :

40.8 mm～490 mm (16:9)

35 mm 換算 (静止画) :

41.3 mm～496 mm (3:2)、

40.8 mm～490 mm (16:9)、

45.0 mm～540 mm (4:3)

色分解光学系

プリズム方式

フィルター径

43 mm

ND フィルター

アイリス連動 自動 ON/OFF

最短撮影距離

0.9 m

ゲイン切り替え

動画撮影 :

0～+24 dB (ステップ 1 dB 可変、USER ボタンに HIGH GAIN を割り当てることにより +34 dB まで可変)

静止画撮影 :

0～+18 dB (ステップ 1 dB 可変)

シャッタースピード

CAMERA モード時 :

プリセット

60i/60P モード :

1/60、1/100、1/120、1/250、
1/500、1/1000、1/2000 秒

30P モード :

1/30、1/50、1/60、1/120、1/250、
1/500、1/1000、1/2000 秒

24P モード :

1/24、1/50、1/60、1/120、1/250、
1/500、1/1000、1/2000 秒

シンクロスキャン :

60i/60P モード : 1/60.0 秒～1/250.0 秒

30P モード : 1/30.0 秒～1/250.0 秒

24P モード : 1/24.0 秒～1/250.0 秒

スローシャッタースピード :

60i/60P モード : 1/2、1/4、1/8、
1/15、1/30 秒

30P モード : 1/2、1/4、1/8、1/15 秒

24P モード : 1/2、1/3、1/6、1/12 秒

PHOTO モード時 :

1/2、1/4、1/8、1/15、1/30、1/60、

1/100、1/120、1/180、1/250、

1/350、1/500、1/750、1/1000、

1/1500、1/2000 秒

最低照度

約 1 lx

(スローシャッター : 1/2、ゲイン : +34 dB 時)

デジタルズーム

2 x/5 x/10 x (USER ボタンに割り当て倍率
トグル切り替え)

1080/60i、720/60P のみ動作

レンズフード

広視野大型レンズフード

【記録／再生 (ビデオ)】

記録規格

AVCHD 規格準拠

圧縮方式

MPEG-4 AVC/H.264

記録メディア

SD メモリーカード :

512 MB、1 GB、2 GB

(FAT12、FAT16 形式に対応)

SDHC メモリーカード :

4 GB、6 GB、8 GB、12 GB、16 GB、

32 GB (FAT32 形式に対応)

メタデータの読み込みには、8 MB～32 GB
の SD/SDHC メモリーカードが使用できます。

記録フォーマット (記録モード : 解像度)

PH モード :

1080/60i

1080/30P (over 60i)

1080/24P (ネイティブ記録)

720/60P

720/30P (over 60P)

720/24P (ネイティブ記録)

HA モード：
1080/60i
HG モード：
1080/60i
HE モード：
1080/60i

転送レート

PH モード：約 21 Mbps (VBR)
HA モード：約 17 Mbps (VBR)
HG モード：約 13 Mbps (VBR)
HE モード：約 6 Mbps (VBR)

【記録／再生（写真）】

圧縮方式

JPEG (DCF/Exif 2.2 準拠)、DPOF 対応

記録メディア

SD メモリーカード：
8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、
128 MB、512 MB、1 GB、2 GB
(FAT12、FAT16 形式に対応)
SDHC メモリーカード：
4 GB、6 GB、8 GB、12 GB、16 GB、
32 GB
(FAT32 形式に対応)

記録画素数

画像横縦比 [4:3]：
3520 × 2640 画素 / 3264 × 2448 画素 /
2560 × 1920 画素 / 640 × 480 画素
画像横縦比 [3:2]：
3984 × 2656 画素 / 3264 × 2176 画素 /
2592 × 1728 画素
画像横縦比 [16:9]：
4224 × 2376 画素 / 3328 × 1872 画素 /
2560 × 1440 画素

【映像方式】

ビデオ信号

1080/60i、720/60p

ビデオ出力

HDMI 出力
HDMI (Type A 端子) × 1
1080/60i、720/60p、480/60p
(ビエラリンク非対応)
アナログコンポーネント出力
ミニD端子 × 1
Y: 1.0 V [p-p]、75 Ω
Pb/Pz: 0.7 V [p-p]、75 Ω
A/V 端子映像出力 × 1
1.0 V [p-p]、75 Ω

【音声方式】

圧縮方式

記録／再生：Dolby Digital/2 ch

サンプリング周波数

48 kHz

量子化

16 bit

圧縮後のビットレート

PH モード：384 kbps
HA/HG/HE モード：256 kbps

【オーディオ入出力】

XLR アダプター

専用ミニ端子

AUDIO 出力

A/V 端子音声出力 2ch
出力：316 mV、600 Ω

内蔵マイク

ステレオマイクrohホン

外部マイク入力

－70 dBV (マイク感度：－50 dB 相当、
0 dB=1 V/Pa 1kHz)
ステレオミニジャック (3.5 mm 径)
(プラグインパワーマイク非対応)

HDMI

2 ch (リニア PCM)、5.1 ch (Dolby Digital)

ヘッドホン

ステレオミニジャック (3.5 mm 径) × 1

内蔵スピーカー

20 mm 丸形 × 1

【その他入出力】

USB

カードリーダーライター機能
(著作権保護機能なし)
USB 端子 Type mini B コネクター
USB2.0 準拠、PictBridge 対応

カメラリモート

スーパーミニジャック (2.5 mm 径)
(ZOOM S/S)
ミニジャック (3.5 mm 径) (FOCUS, IRIS)

【モニター】

液晶

2.7 型 ワイド液晶カラーモニター
(約 23 万画素)

ビューファインダー

0.26 型 ワイド液晶 EVF (約 11.3 万画素)

【AC アダプター】

定格入力	100 V - 240 V AC、 50 Hz/60 Hz 32 VA (AC100 V 時) / 44 VA (AC240 V 時)
定格出力	7.3 V DC、1.75 A (ビデオカメラ) 8.4 V DC、1.3 A (充電時)

 は安全項目です。

質量

140 g

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

103 mm × 36 mm × 62 mm

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、
正しい廃棄方法をお問い合わせください。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 ビジネスソリューション事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161